

1 事業の概要

現在、大分市が所有している福宗環境センター清掃工場・リサイクルプラザ及び佐野清掃センター清掃工場では、臼杵市、竹田市、由布市、津久見市から排出される一般廃棄物の広域処理を行っていますが、老朽化が進行していることから、新たな一般廃棄物処理施設（以下、「新環境センター」という。）を計画的に整備する必要が生じてきました。

また、大分都市広域圏の構成市である豊後大野市の所有するごみ処理施設についても更新時期が迫ってきており、新環境センターでの広域処理に参加の意向が示されたことから、6市から排出される一般廃棄物の処理を行う施設の整備を大分市が主体となって行っています。

◆ 大分市のごみ処理施設

- 福宗環境センター
 - 清掃工場 H9.4供用開始 (23年経過)
 - リサイクルプラザ H19.4供用開始 (13年経過)
- 佐野清掃センター 清掃工場 H15.4供用開始 (17年経過)

◆ 他市のごみ処理施設

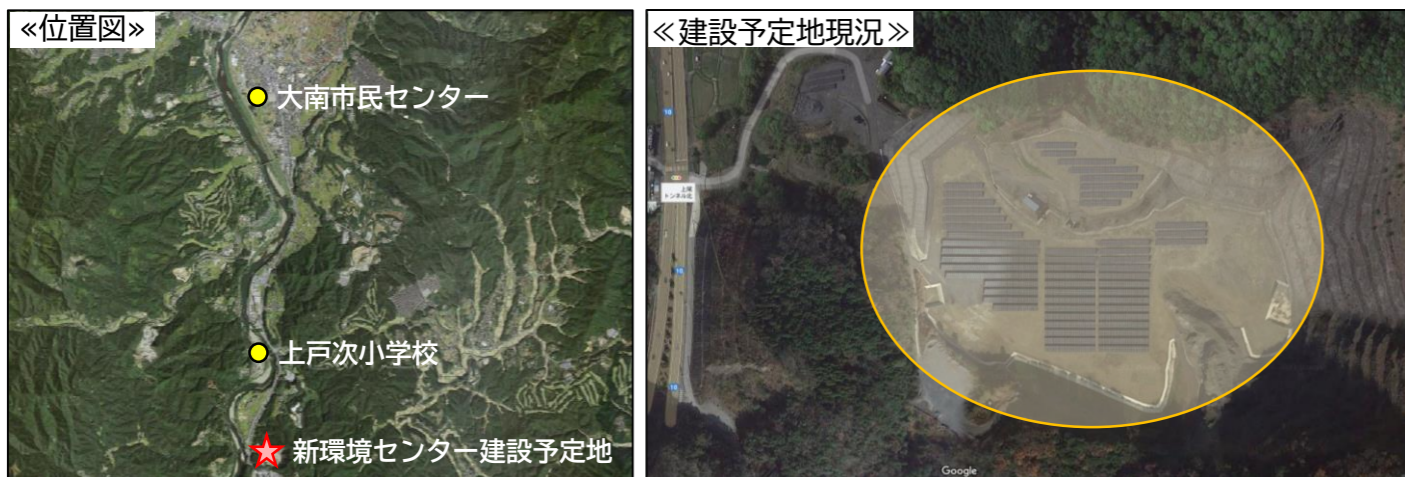
- 臼杵市清掃センター 不燃粗大ごみ処理施設 H16.8供用開始 (16年経過)
- 豊後大野市 清掃工場 H10.3供用開始 (22年経過)
- 津久見市ドリームフューエルセンター H8.12供用開始 (24年経過)

※ 津久見市の可燃ごみは令和3年度から大分市で受入開始

2 事業スケジュール（案）

	H29 (2017)	H30 (2018)	R元 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)
(1)一般廃棄物処理施設整備基本計画											
(2)環境影響評価											
(3)測量・地質調査・用地買収等											
(4)PFI等導入可能性調査											
(5)特別高圧電線調査・接続事業											
(6)事業者募集・選定											
(7)実施設計・建設工事											
(8)試運転											
(9)供用開始											

3 建設予定地



4 整備する主な施設

1) 新清掃工場（可燃物処理施設）・・・688t/日（対象地域：6市）

【新清掃工場の処理方式（候補）】

ストーカ式焼却方式

シャフト炉式ガス化溶融方式

流動床式ガス化溶融方式

※ 落札事業者が提案した処理方式を最終的な処理方式とします

2) 新リサイクルセンター・・・79.9t/5h（対象地域：大分市、臼杵市、由布市）

※ 埋立場は既存施設を引き続き活用します。

※ 処理能力は、最新情報を基に見直しを行い、今年度中に決定する予定です。

5 環境保全基準

	法規制値	既存施設（佐野） 自主管理値	新清掃工場 自主管理値
ばいじん	0.04 g/Nm ³	0.02 g/Nm ³	0.01 g/Nm ³
塩化水素	430ppm	30ppm	30ppm
硫黄酸化物	K値 2.34 (※350ppm)	20ppm	20ppm
窒素酸化物	250ppm	60ppm	50ppm
ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/Nm ³	0.1ng-TEQ/Nm ³	0.05ng-TEQ/Nm ³
水銀 《2018年4月～》	既設：50μg/Nm ³ 新設：30μg/Nm ³	50μg/Nm ³	30μg/Nm ³

※ K値は、硫黄酸化物を算出する際に用いられる大気汚染防止法で定められた定数で、煙突の高さや地域によって濃度は変わります。仮に、K値を用いて硫黄酸化物濃度を積算した場合、佐野清掃センターの自主管理値濃度は法規制値の35分の2の値です。

6 現在進行中の事業（環境影響評価）

大分県環境影響評価条例に基づき、新環境センター整備事業が環境に及ぼす影響について、調査、予測及び評価を行い、その結果に基づいて建設・運営事業の内容をより環境に配慮したものとしていくことを目的として環境影響評価を実施しています。

